

## 5月2日（土）奥びわ湖山門水源の森 保全活動体験記

自然保護委員会主催（記：八尾山の会 中路）

先日、滋賀県長浜市に広がる「山門水源の森」の保全活動に参加してきました。豊かな湿原と数多くの動植物がいるこの美しい森を次世代に引き継ぐため、今回は登山道の補修作業に汗を流しました。

### 想像以上にハードな「歩荷」の試練

今回の主な任務は、登山道の浸食を防ぐための作業です。

- 1. 製作：**まずは倒木や間伐材などを粉砕したチップを土嚢袋に詰める作業からスタート。
- 2. 歩荷：**ポイントに積み上げられた重い土嚢を背負い、急勾配の登山道運び上げます。
- 3. 敷設：**露出して傷んでしまった木の根を、保護するようにチップを丁寧に敷き、平らにならしていきます。



### 活動を終えて

むき出しになっていた登山道の木の根が、自分たちの運んだチップでふんわりと覆われた光景を見たとき、これまでの疲れが大きな達成感に変わりました。

私たちが1歩踏み出す道は、誰かの手によって守られている。今回の活動を通じて、自然を楽しむだけでなく「保全活動に参加」することの重要性を再確認しました。心地よい疲労とともに、山門の豊かな森がより一層身近に感じられる1日となりました。

### 参加者の感想

- またまた美しい山門の森へ。今回は保全活動に参加。2018年の台風で倒れたというヒノキの再利用でチップになったものを土嚢袋に詰める作業から。午後からは土が削られ木の根が出てきている遊歩道にそのチップを埋めて行きました。でも、広大な自然の中ではほんの少しの…ホントにちっぽけな行いでした。この日は他にもいろいろな作業をされていて、こんな風に気の遠くなるような手間と時間をかけて守られているんだな…どの山も…と実感しました。
- 今日は普段出来ない貴重な体験させて貰いました。足手まといになってないかな？スタッフの方がホントに色々教えてくれたけど唯一覚えているのは、ゆずり葉だけです。それでも大満足です。でも参加の皆さんのエネルギーな力、さすが山やさんですね(笑)
- 山門の気持ちのいい緑の森の中で、少しだけですが、自然保護のお手伝いをした満足感と植物の面白い植生を知ることが出来て、充実した1日になりました。